

ピンチは チャンス！ 未来に向けた 原点回帰

上田市立第二中学校
令和5年度PTA会長
中澤 創



学校紹介 ～上田二中～

- 1813年、上田藩文武学校
明倫堂設立。上田市立第二中学校として現在に至る。
- 明倫堂建学から「**明倫の心**」
を二中の精神として、本校教育目標の基盤となっている。
- 2015年4月から現校舎で
授業開始



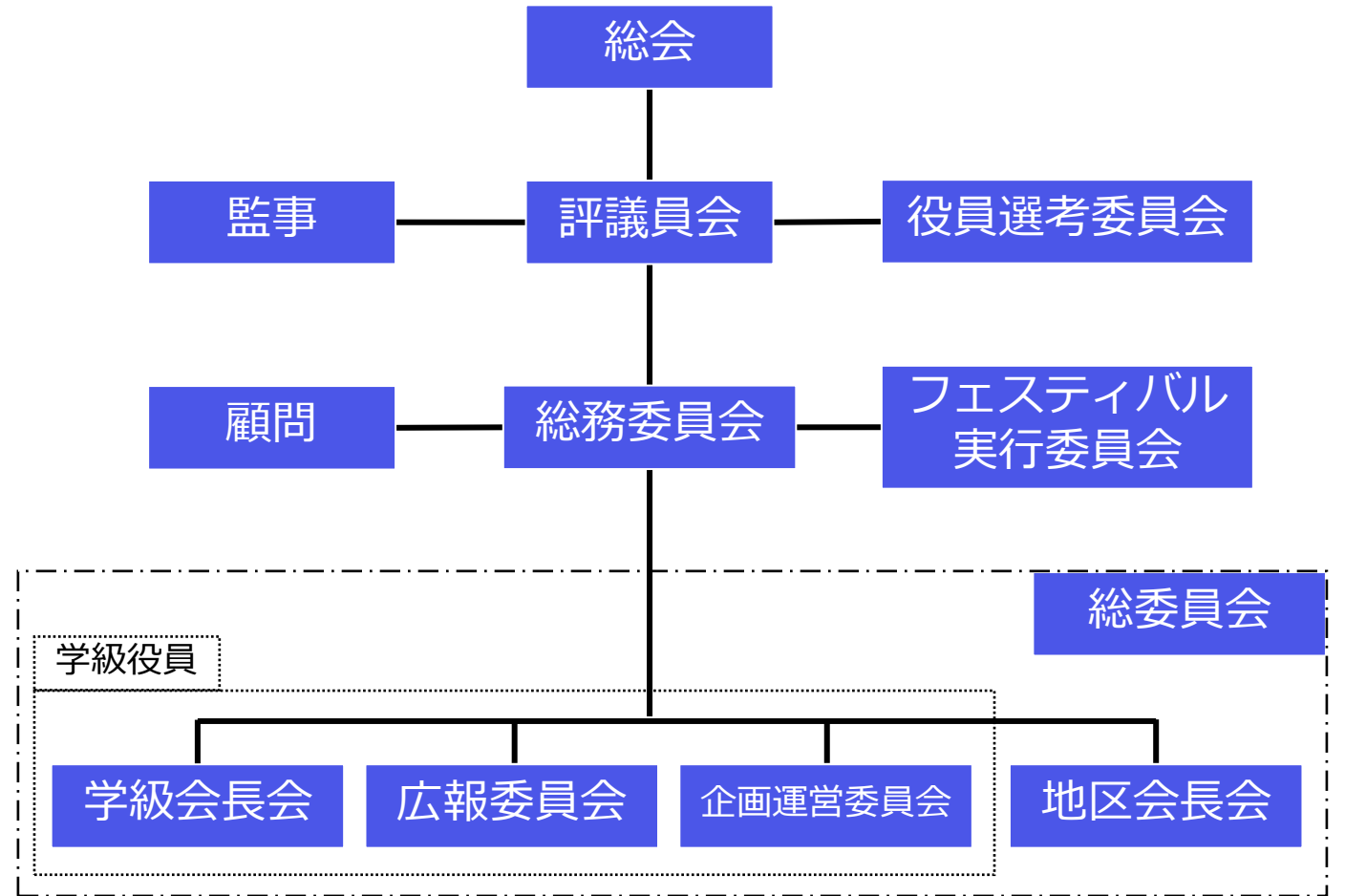
学校紹介 ～上田二中～

- 清明小、塩尻小と西小の一部の生徒が学区範囲
- 生徒総数 2 8 7 名
(2023年4月3日現在)
- 1 学年 3 クラス





PTA組織



- ＜PTA運営の状況＞
- ・ 各会の運営（PTA総会、評議員会、総務委員会等）
 - ・ 各事業の企画、実施、参画
 - ・ PTA新聞発行





**ピンチはチャンス！
未来に向けた原点回帰**



○ 研究テーマ設定の経緯・趣旨

👉 二中で実施してきた継続事業

・ 二中フォーラム

地域の方や卒業生の
技術や知見を
子どもたちが
フォーラム形式で体験



学びと地域との繋がりを
得られる場を創出

・ PTAフェスティバル

子どもたちと共に
飲食や物品提供の
ブース出店



得た収益を
子どもたちのための
備品購入等費用に



● 研究テーマ設定の経緯・趣旨

👉 コロナ禍でどうしよう！

・二中フォーラム

従来講師と対面で実施



感染拡大リスクあり

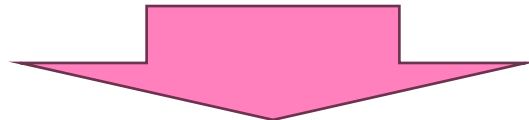
・PTAフェスティバル

対面でのブース出店

飲食もあり



感染拡大リスクあり



「やれるのか？やれないのか？」の議論に



○ 研究テーマ設定の経緯・趣旨

👉 コロナ禍でどうしよう！

・二中フォーラム

従来講師と対面で実施



感染拡大リスクあり

・PTAフェスティバル

対面でのブース出店

飲食もあり



感染拡大リスクあり



雰囲気悪い！



● 研究テーマ設定の経緯・趣旨

👉ピンチをチャンスに！ピンチこそがチャンス！

「やれるのか？や

「やるべきか？な

「やろう！ど

継続事業の見直しは
手間がかかって
中々着手しづらい・・・



ピンチをチャンスとして
目的から見直そう！

● 研究テーマ設定の経緯・趣旨

👉 大前提の考え

子どもたちの
最も身近な大人は
親と先生



親、先生のコミュニティ
(繋がり)は
子どもの成長環境創出のため
必要不可欠、密な方がいい

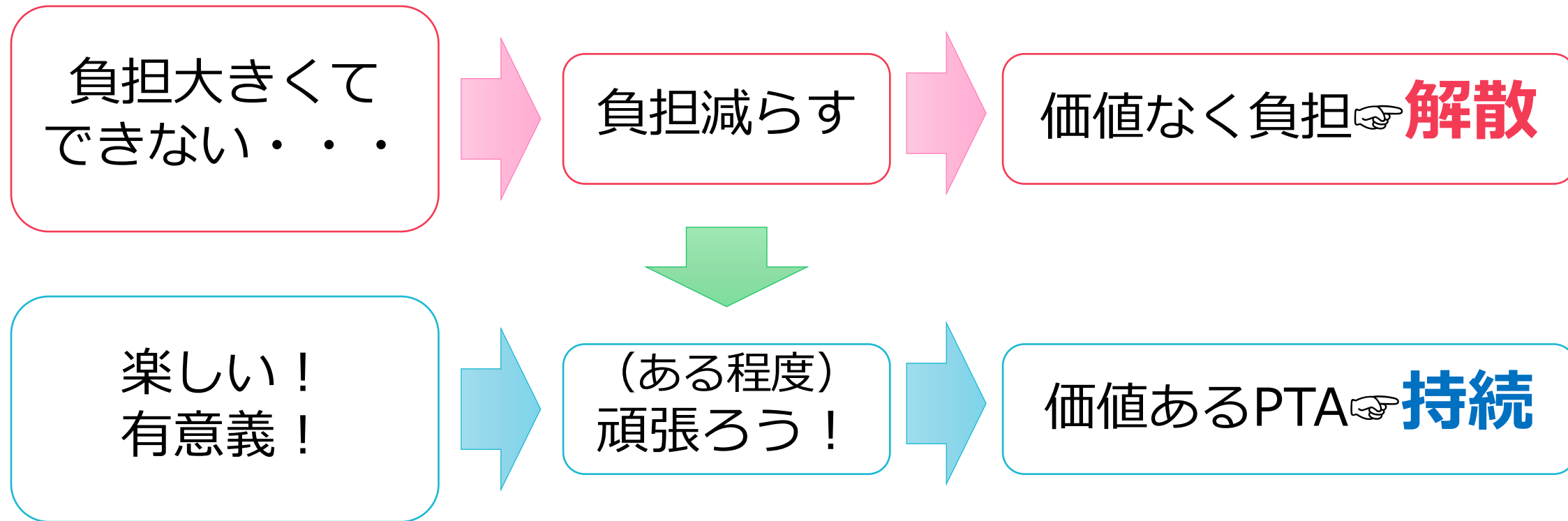


現存するPTAの活用が最も効果的でラク



● 研究テーマ設定の経緯・趣旨

👉 大前提の考え



楽しく意義ある（バランスのよい）PTA活動をしよう！

○ 研究内容

👉 研究期間でテーマ対象とした事業

PTA作業

二中
フォーラム

PTA
フェスティバル



● 研究内容

PTA作業

<検討前提>

- 7月2日に実施
- 年度の最初の事業ということに着目



<設定目的>

- 二中フォーラム、PTAフェスティバルにつながる

大人の交流機会



● 研究内容

👉 PTA作業

＜行った対応・仕掛け＞

- 従前は親子全員参加、コロナ禍ではPTA役員のみ参加を、当年度は親、先生のみ参加対象に。
- 子どもたちから大人に向けた学び舎をキレイにしてほしいという依頼ムービーを制作して親の参加を促す工夫。



研究内容



👉 PTA作業～子どもたちからのメッセージムービー～



● 研究内容

PTA作業

＜実施結果・効果＞

- 多くの保護者の皆様の参加を得ることができた。
- PTA作業当日、子どもたちが教室の黒板に「PTA作業、ありがとうございます」などのメッセージを書ってくれた。

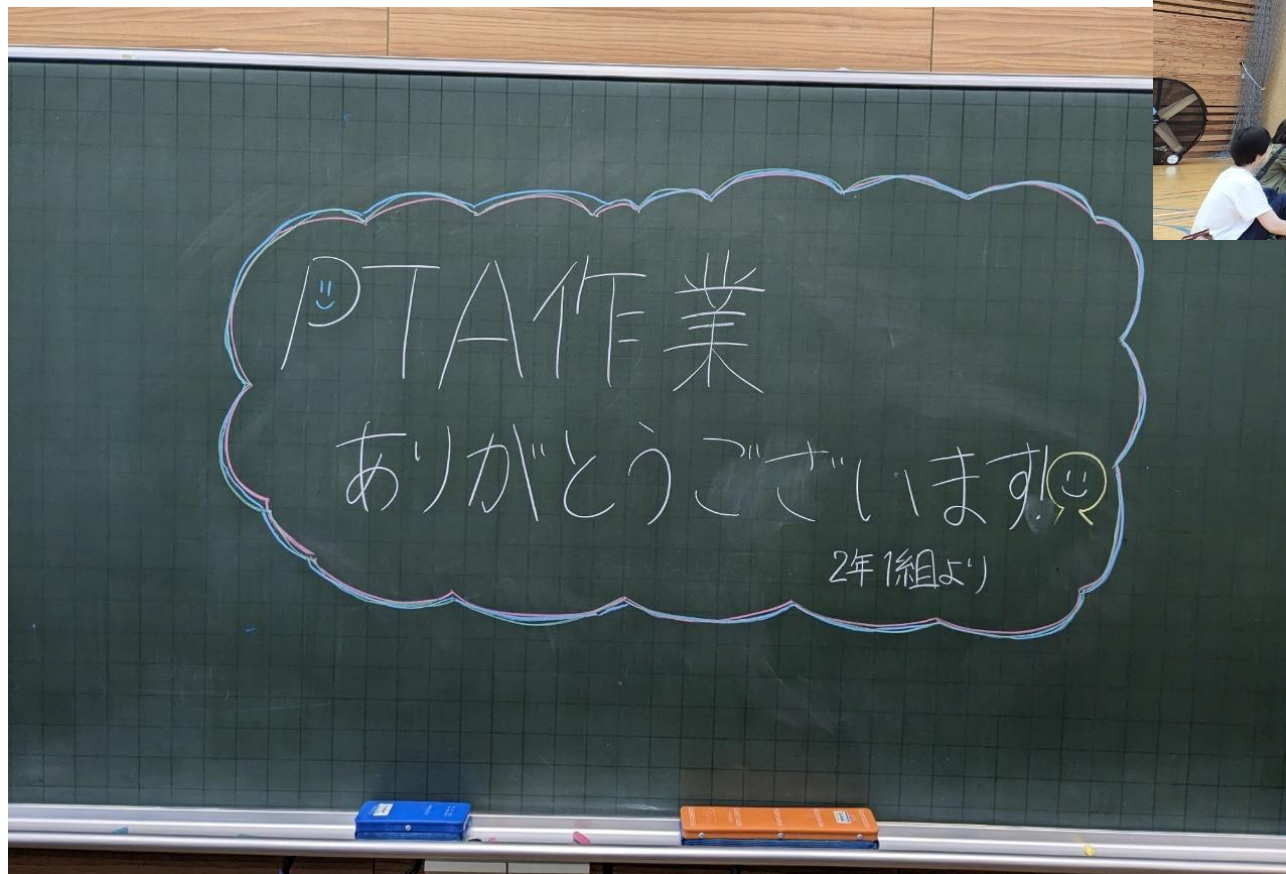


- PTA活動の意義、目的ややりがいには大人が触れることができた。



● 研究内容

👉 PTA作業



● 研究内容

👉 二中フォーラム

<検討前提>

- 二中フォーラムは子どもたちが通常では得られない体験、学びを得られる重要な事業であることを再認識
- 目的を変えることなくやろう！



<検討結果>

- やり方を変えよう！

👉 オンラインでの講義を採用（令和4年度）



● 研究内容

👉 二中フォーラム

＜実施結果・効果＞

- コロナ禍でも充実した二中フォーラムが実施できた。
- 二中フォーラムの**目的、意義を継承することができた。**
- 令和5年度では対面で講座数も拡大して開催することができ、有意義な事業を未来に繋げることができた。



● 研究内容

👉 二中フォーラム

令和4年度（オンライン）



令和5年度（対面開催）



● 研究内容

PTAフェスティバル

<検討前提>

- 従来の目的としていた子どもたちの必要物品購入に開始当初の必要性は低下し、過去の繰越残高が多額に残っている状態
- 負担大きすぎて隔年開催などが検討されていた状況も考慮
- PTAの名を冠する事業としては価値あり



● 研究内容

👉 PTAフェスティバル

＜検討結果＞

・ 目的を変えてPTAの名を冠する事業を続けよう！

👉 「子ども、親、先生方の交流を深める場の創出」

👉 令和4年度は小運動会、令和5年度は学校かくれんぼ



● 研究内容

PTAフェスティバル

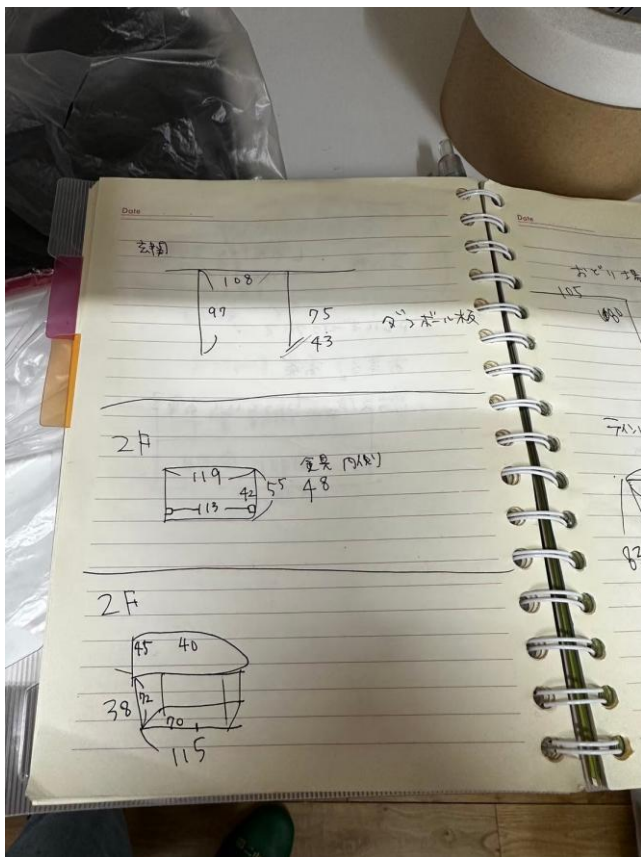
＜実施結果・効果＞

- 目的を見直すことで精神的な負担感の大きさを低減、意味ある事業に再構築できた。
- 負担を軽減しつつ大人も子どもも楽しんで交流できる場ができた。



● 研究内容

👉 PTAフェスティバル





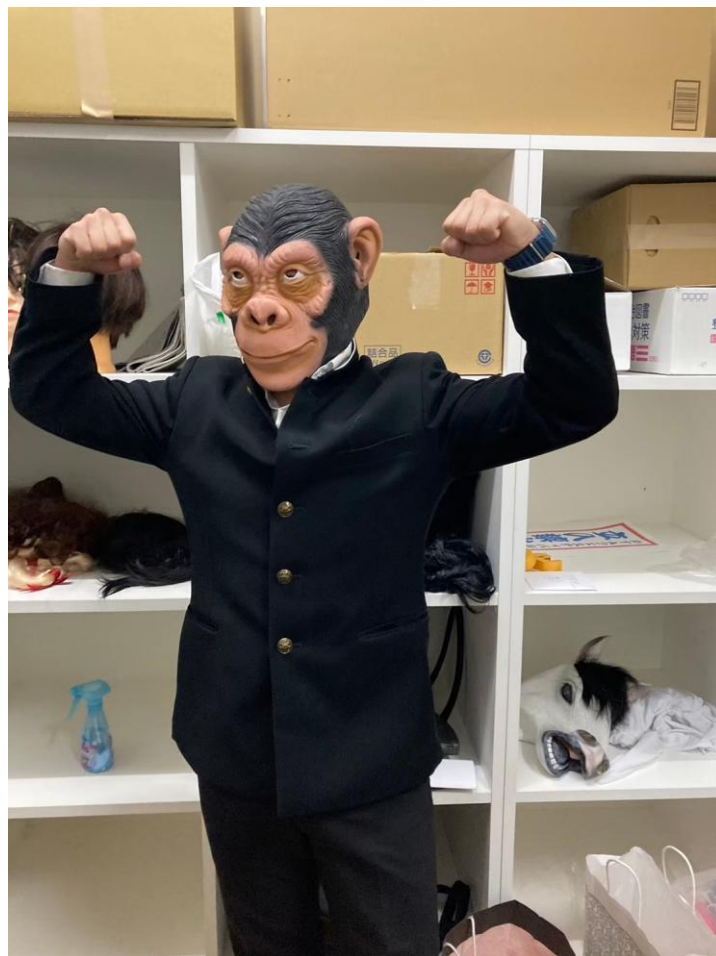
● 研究内容

👉 PTAフェスティバル



● 研究内容

👉 PTAフェスティバル



● 研究内容

👉 PTAフェスティバル



● 研究内容

👉 PTAフェスティバル



● 研究内容

👉 PTAフェスティバル



○ 研究成果

目的に着目した
事業再検討
・再構築と
楽しさの模索



楽しかった、子どもたちも楽しそうにしていた、二中PTA最高！の声を聞くことができた



方向性に一定の成果を感じた



● 今後の課題

役員選考の
大変さは
変わりなし

活動量増での
負担増との
声もある

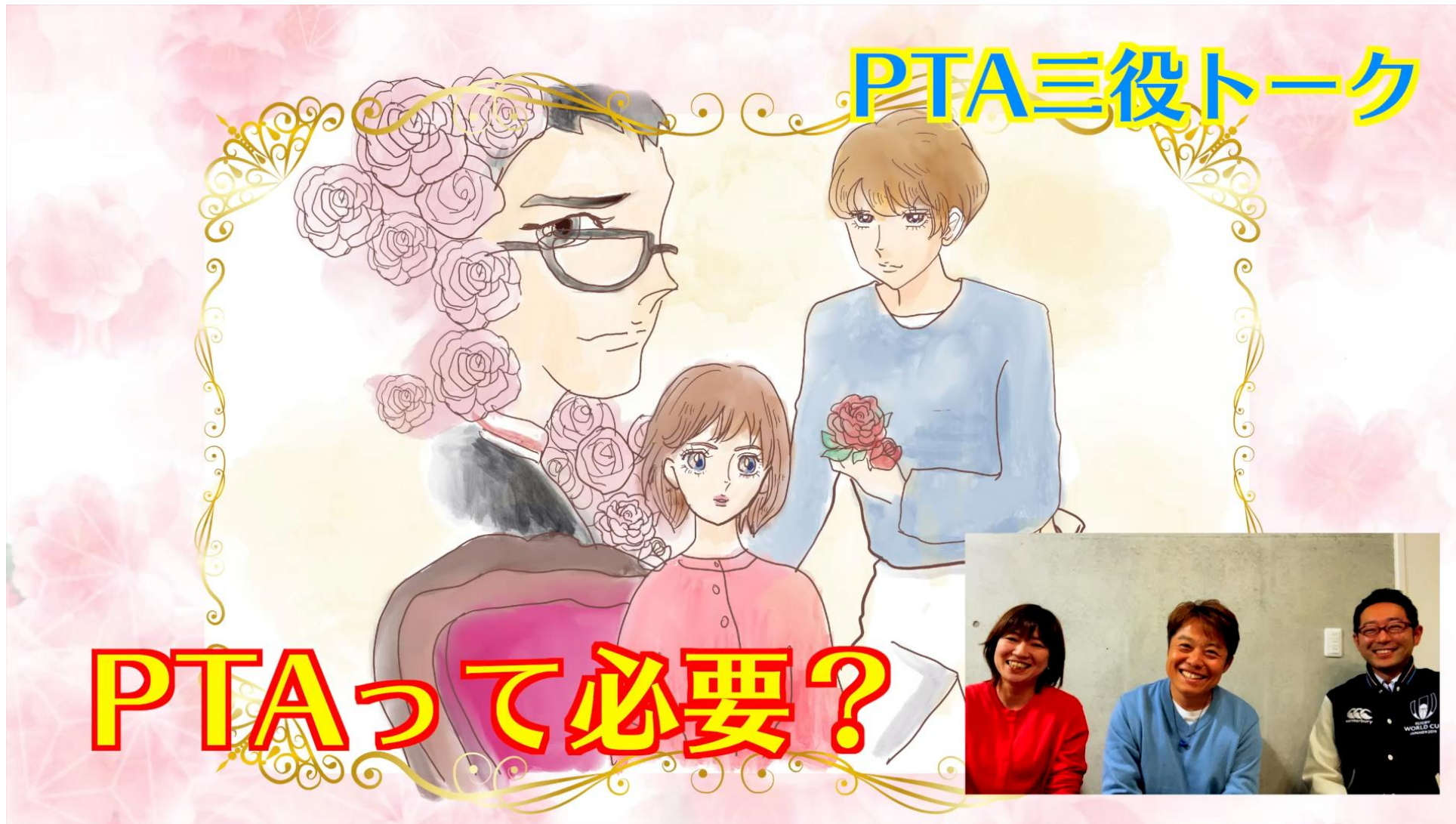
必要性の高い
PTA活動の
伸びしろあり



持続可能なPTAに向けた多方面からの
検討・活動の継続が必要



● その他活動について（おまけ）



三役で
ユーチューバーに
なりました！

役員選考にあたり
計5本の
動画を作りました！





ピンチは チャンス！ 未来に向けた 原点回帰

上田市立第二中学校
令和5年度PTA会長
中澤 創

